

# こたけま

第42号 (2021年1月)

発行 九鬼コミュニティーセンター

電話 0597-29-2164

## もう、お済みですか

新年明けまして  
おめでとございます。

旧年中は、コミュニティー  
センター事業に、多大なご協  
力・ご参加を賜り厚く御礼  
申し上げます。

本年もどうぞよろしくお  
願い致します。

尾鷲市指定ゴミ袋を無  
料配布します。

広報おわせ 12月号に

印刷されている引換券を  
切り取ってお持ち下さい。

〈引き換え期間〉

1月29日(金) まで

※代理人も可

〈お願い〉

コロナウイルス感染予  
防のため、3密(密閉・密  
集・密接)を避け、手洗い  
と手指消毒、マスクを着用  
し、換気に注意してご利用  
していただきますよう、皆  
さまのご協力をお願いい  
たします。

九鬼の  
おもしる  
歴史

## 九鬼の古代史とは

倉本為一郎著「九木  
郷土史」からみえるこ  
と

「九木とゆう地は何時  
頃から開けたのであるう  
か、今確かな文献は残っ  
ていないが、真巖寺下の  
畑から、土師器(はじき)  
の破片が出土されている。  
これによって原史時代  
の初期の発生で、紀元後  
数世紀に該当するが、私  
はもっと以前の発生では  
ないかと考えている。  
元来九木とゆう地は土  
地が至って狭く、古代人  
類の集落と、現在人家の  
建ち並ぶ処とは同一で  
あって、古代の遺物は皆、  
民家の下に埋もれている  
ために発見出来ないのだ  
はなかるうか、何故なら  
ば、九木の南隣りの賀田  
湾周辺の曾根など又海山  
町では引本・矢口からも  
其の時代の遺物が出てい  
て、縄文中期から弥生式

前期に至る頃の発生地  
である事は想像し得る。  
両地域に挟まれた九木  
の地だけが取り残され  
て、ずつと遅れた土師器  
時代の発生とは考えら  
れない、必ず隣地一帯の  
地といくらか差があつ  
たにせよ、大体時を同じ  
くして、縄文終期から弥  
生式前期の発生である  
と信ずる次第である。」  
(此の文書は、昭和35  
年 憲法発布記念日)

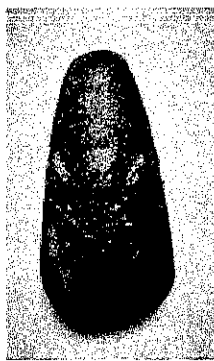
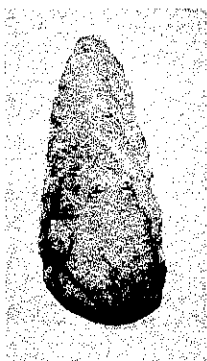
九鬼小児童による発見

この発表と同時期(昭和34、35年)に九鬼小児童が九鬼の二か所(九鬼駅前川向いと三思が丘公園裏)で石斧を発見している。東君は田海道川の下流(現ハッピーの前の海岸)、榎本君は三思が丘公園付近で石斧を見つけて、先生に見せ、郷土歴史家に確認してもらった後、学校の廊下に展示してあったらしい、東君は榎本君から見せてもらった石斧は自分のよりごつたと記憶していたとの

ことです。此の事は倉本氏の仮説を裏付ける資料となったであろう。

なお、此の事に関する資料や記憶がある方は、「九鬼郷土歴史教室・宮崎」にご一報ください。

倉本 為一郎(昭和3年  
5月 九木小学校校  
長)



「右が東君、左は榎本君が発見したと思われる同型の石斧」